

Weekly Report 2024-2025

ロータリーのマジック



創立 1969年4月14日
 承認 1969年4月23日
 チャーターナイト 1969年11月9日
 発行 IT・広報委員会

会長：江島繁夫 / 幹事：岩本達也 / 副会長：島谷隆 / 会長エレクト：鈴木雅博 / 副幹事：堀井実 / S.A.A: 中井博

今週のプログラム 第2626回 3月7日

客話「高松城跡に讃岐の戦国史をさぐる」西岡達哉様
 高松短期大学 ビジネスデザイン科 講師/専門：日本考古学 物質文化史/元香川県埋蔵文化財センター 所長

担当者 プログラム委員会 例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム 第2625回 2月21日

客話「高松市のまちづくりについて」高松市副市長 中林大典様

担当者 プログラム委員会 例会場 JRホテルクレメント高松



江島会長挨拶

皆さんこんにちは
 先日のIMに参加してまいりました
 坂出ロータリークラブ会長宮川さんの挨拶で保護司のお話をされていました
 保護司は民間のボランティアで今後の課題などの検討会に参加されていたそうです
 その保護司の関係でNHK解説委員の清永聡さんが講演にいられていました
 清永さんをご案内の通り虎に翼の三淵さんの話そして三淵さんが家庭裁判所を通して戦争孤児などの子供たちを支援する活動の話をされていました
 そしてまた会長の宮川さんはロータリークラブに入会しているいろんな話を聞く機会があります
 いろんな話を聞くだけでなく次は行動を起こすということもおっしゃっていました
 まだまだできることがあるのではないかと感じる一日でした
 今日もよろしくお祈りします

幹事報告

回覧・薬物乱用防止広報強化月間の実施について

ニコニコBOX

寄付	客話謝礼より
香川県ゴルフ協会の会長を仰せつかりました。ゴルフをしましょう	小竹
高松市副市長 中林様 本日は楽しいお話ありがとうございました	有友
会長のお手紙がとどきました。ありがとうございます	入谷
遅刻	1件
合計 5件	
本日の合計	28,500円
2024-2025年度累計	640,000円

出席報告

出席委員長：川口英樹	
会員数 / 42名	出席規準数 / 39名
出席者数 / 24名	欠席者数 / 15名
出席率 / 61.54%	ビジター / 0名
最終出席率 / 1月31日 52.63%	→ 64.10%

3月7日 今日は何の日 今日生まれの有名人

サウナの日/警察制度改正記念日/消防記念日	1977年 長谷川博己	1940年 上條恒彦
1908年 青函連絡船運航開始	1961年 高市早苗	1928年 仁木悦子
2014年 日本一の高層ビルであるあべのハルカス開業	1957年 オール阪神	1924年 安部公房

誕生花	「カンパニュラ」花言葉は“感謝・誠実・節操”
誕生石	「パープルガーネット」宝石言葉は“繁栄・勝利・不変の愛・友愛”

我等の生業

我等の生業さまざまなれど
 集いて囀る心は一つ
 求るところは平和親睦
 力るところは向上奉仕
 おおロータリアン 我等の集い



2024-2025年度 2月定例理事会

日時	2025年2月21日
場所	JRホテルクレメント高松：例会場
出席者	江島、磯崎、島谷、中井、加藤、野口、入谷 オブザーバー 堀井
議題	① 入会希望者7day'sへ → 承認 ② 矢野会員より退会届 → 受理 ③ 4月4日の例会を4月3日に変更 → 承認 ④ 松下氏管理の画像データ移管に関する費用について → 調査

3月誕生日の樹

7日 低田陽介会員 ジンチョウゲ(沈丁花)
10日 遠藤直樹会員 アケビ(木通)



記念樹 - 記念日と誕生日365日の+1の樹 - 財団法人経済調査会発行より

ロータリー特別月間(3月)

水と衛生月間 (Water and Sanitation Month)

2014年10月RI理事会は、3月を重点分野：「水と衛生月間」とした。地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善、持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域住民が行っていくための能力向上、安全な水と衛生の重要性について、地域住民の認識を高めるためのプログラム支援、水と衛生に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。

IT・広報委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。
題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構です。投稿していただきます様、宜しくお願い申し上げます。

facebook

facebook でたくさん写真公開
していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>



RI会長からのメッセージ(3月)



一つの小さな行動

ステファニー A. アーチック
2024-25年度 国際ロータリー(RI)会長

3月がやって来ました。ロータリーでは「水と衛生月間」。活動の中でも最も変革をもたらす分野の一つにスポットライトを当てる時期となります。

今月は、ロータリーのマジックと、私たちが同じ決意と目的を持って団結したときに生み出される大きなインパクトについて考える機会です。

何年も前、私はドミニカ共和国でこのマジックを目の当たりにしました。会員のグループが浄水器の取り付けを手伝ったのですが、濁った水がフィルターを通してきれいな水になって出るのが3人の子どもが驚いたように見つめていました。水をいったん止めると、1人の子どもが私の袖を引っ張って、「もう一度マジックを見せて」とせがんだのです。

彼らにとって、それは魔法だったのです。それはまた、無数の努力の結晶でもあります。安全な水の提供に取り組む地元のパートナーと協力して計画し、浄水器を運び、設置しました。あの時、私は一つの小さな行動が人々の生活を変えることができることに気付きました。それこそがロータリーのマジックです。

この話は、世界中のロータリーファミリーが変化を生み出せるという素晴らしい可能性を証明するものです。水プロジェクトは、ロータリーのインパクト、パートナーシップ、生活改善への揺るぎない献身を象徴しています。ロータリーと米国際開発局(USAID)の協力関係を考えてみてください。このパートナーシップにより、私たちはドミニカ共和国やガーナ、フィリピン、ウガンダで、何千人もの人々の持続可能な水と衛生設備へのアクセスを改善するために、地域社会や政府と協力できました。

パートナーシップは、ロータリーが力を合わせることで、より大きな影響をもたらすことができることを私たちに思い出させてくれます。国連環境計画(UNEP)との戦略的パートナーシップを通じて、私たちは「淡水保全のためのコミュニティアクション」イニシアチブを進めています。このプログラムは、淡水生態系の保護や回復、持続を目的としたツールやリソースをロータリー会員に提供するものです。

さらにロータリーの補助金を利用し、地域社会で安全な水の推進活動を行うことで、個々のプロジェクトをはるかに超えた波及効果が生まれます。

今月の月間の重点分野「水と衛生」を心に留め、私は全てのロータリー会員に新たなパートナーシップを模索するよう呼びかけます。協力し合うことで、私たちの力は倍増し、支援を必要とする、より多くの人々を支援できるようになるからです。

地元団体と協力、国際機関と提携、地域社会を動員。皆で一步を踏み出すたびに誰もが安全な水と衛生設備を利用できる世界へと近づきます。

ロータリーのマジックは、他団体と協力し、末永く続く好ましいインパクトを生み出すときに最も輝きます。力を合わせれば、夢を現実のものとし、人々の生活や地域社会を変えることができます。その結果は時に魔法のようだと感じられるかもしれませんが、それは私たちのコミットメントと思いやりの力が生み出すものなのです。今月、そしてこれからも、このマジックを通じてさらなる変化を生み出しましょう。

次週のプログラム

第2627回

3月28日

調整中

担当者 プログラム委員会

例会場 JRホテルクレメント高松